

筑波大学附属病院 内科専門研修プログラム(地域枠、修学生)

特徴

- 1) 内科10分野13領域のすべてに経験豊富な指導医・専門医を多数擁しており、1人1人に担任教員がついて、個々に合わせた多彩なキャリアを支援します
- 2) 10分野のSubspecialty分野のプログラム・カリキュラムの基幹施設であり、内科専門研修からSubspecialty専門研修へと一環して研修できます。また、Subspecialty専門研修修了後に至る長期的視野のもと育成します
- 3) 最短期間で内科専門医とSubspecialty専門医の取得をすることが可能であり、早期取得を目指す場合「連動研修」が可能です。
- 4) 道筋のSubspecialty分野を決めずに3年以内を幅広く研修することも可能です(病院総合内科に所属します。)
- 5) 専門研修を行いながら大学院進学が可能です。(大学院専攻中や留学中は義務年延長期間となります)
- 6) 研修中の出産・育児、介護など個別の状況にあわせて研修をアレンジします。

研修ローテーション例：(あくまで例であって、個別にアレンジします)

オレンジ色	臨床研修期間
水色	内科専門研修期間
黄色	内科系Subspecialty専門研修期間
斜線	内科・Subspecialty連動研修※期間

※内科・Subspecialty連動研修とは内科専門医を取得するための症例経験とSubspecialty専門医を取得するための症例経験を並行して行っていく研修でプログラムを並行に進めるものです。(詳しくは内科学会ホームページをご参照ください)
連動研修として認定される条件は各Subspecialty分野ごとに決まっております。(詳しくは各Subspecialty分野ホームページ等をご参照ください)

(1) 地域枠(義務年9年間)

	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目	8年目	9年目	10年目	11年目	12年目	(備考)
ケース1	臨床研修(地域内)	筑波大学	A1	B1	筑波大学	A2	A3	B2					2年目または3年目に選定のSubspecialty分野を決定し、内科研修の内2年間連動研修 最短期間の内科およびSubspecialty専門医取得
ケース2	臨床研修(筑波大学) 1年間のみ地域内	筑波大学	A1	B1	筑波大学	A2	A3	A4					臨床研修が筑波大学で1年間地域内研修だった場合、3年目以降4年目A病院群で勤務となる ※筑波大学またはB病院群で研修し猶予期間を作ること可能
ケース3	臨床研修(地域内)	筑波大学	A1	A2	筑波大学	B1	B2	A3					連動研修なし 5年目にSubspecialtyを決定し6年目からSubspecialty専門研修開始 ※1年だけ連動研修も可能
ケース4	臨床研修(地域内)	筑波大学	B1	B2	筑波大学	筑波大学(猶予)	A1	A2	A3				Subspecialty専門研修が筑波大学またはB群の病院でなければ難しい分野の場合、義務年を1~2年延長し、Subspecialty専門医取得後にA病院群で勤務することが可能
ケース5	臨床研修(地域内)	A1	筑波大学	筑波大学(アカデミック)	大学院専攻(猶予)	大学院専攻(猶予)	大学院専攻(猶予)	筑波大学	B1	A2	A3		義務年終了前に大学院に在籍(大学院3年間が猶予期間)
ケース6	臨床研修(地域内)	A1	筑波大学 産休 育休	筑波大学	筑波大学	産休 育休	筑波大学	B1	A2	A3			産休・育休を6ヶ月ずつ2回取得した場合 筑波大学勤務中は選定時間の時短勤務、病児保育、附置保育所の利用などが可能 ※Subspecialty専門研修中の時短勤務の扱いに関しては各Subspecialty分野でご確認ください。

(2) 一般修士(貸与期間と同期間医師不足地域内で勤務)

	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目	8年目	(備考)
ケース1 (6年間)	臨床研修(地域内)	A1	A2	筑波大学	A3				最短期間での内科専門医を取得しつづ義務年終了。 7年目にSubspecialty専門医取得
ケース2 (6年間)	臨床研修(筑波大学) 1年間のみ地域内	A1	A2	筑波大学	A3	A4			臨床研修を筑波大学で行う場合、専門研修でも原則1年筑波大学で研修する必要があるため、義務年が1年延期となる
ケース3 (6年間)	臨床研修(地域内)	A1	A2	筑波大学	B1(猶予)	B2(猶予)	A3		Subspecialty専門研修がB群の病院でなければ難しい分野の場合、義務年を1~2年延長し、Subspecialty専門医取得後にA病院群で勤務することが可能

内科専門研修病院群

基幹病院	筑波大学附属病院
A群病院群(医師不足地域内医療機関)	茨城県立中央病院、茨城西南医療センター、茨城東病院、日製日立総合病院、ひたちなか総合病院、水戸医療センター、水戸協同病院、水戸済生会病院、友愛記念病院、神栖済生会病院、北茨城市民病院、茨城西部メディカルセンター、小山記念病院、土浦協同病院なめがた地域医療センター、日紅記念病院、常陸大宮済生会病院、取手北相馬保険医療センター医師会病院、とりで総合医療センター、龍ヶ崎済生会病院、東京医大茨城医療センター、総合守谷第一病院、茨城県立医療大学付属病院、牛久愛和病院、つくばセントラル病院
B群病院群(医師不足地域外医療機関)	筑波大学附属病院、石岡第一病院、いちほら病院、霞ヶ浦医療センター、筑波学園病院、筑波記念病院、筑波メディカルセンター、土浦協同病院